



中学生になったら

4月から中学生になる子ども達
3名に抱負をお聞きしました。

わかばの会子ども会

会長 藤沢 小羽こは (若松町)

私が中学へ行ってがんばりたいことは三つあります。

一つ目は勉強です。私には今年受験の兄がいて、勉強の大変さを間近で見えました。なので、1年生の時からしっかりと授業を聞いてわからないことがないようにしていきたいです。



わかばの会交流会【紐結びゲーム】

二つ目はあいさつをするということです。私は6年生の時からあいさつ運動に取り組んできました。自分から元気よくあいさつをすると気持ちがいいので、中学へ行っても続けていきたいです。

三つ目は習字を続けていくことです。私は4年間習字を習っています。習字では、字を書くことで集中力も身につくのでこれからも続けていきたいです。

副会長 井澤 元和もとやす (幸町)

ぼくは、中学校に入学したら、たくさん友達を作り、やるべきことはやり、楽しむときは楽しむ、はじめをつけて3年間を過ごしたいです。

中学校に行ったら小学校よりも勉強も難しくなり、宿題も増え大変だと思えますが、やるべきことはしっかりとやりたいと思います。

そして中学校へ行って新しい友達をたくさん作り中学校生活を友達と楽しく過ごしたいと思っています。しかし、楽しむというところは、ちがう意味なのでそこを気を付けながら生活していきたいです。そして友達などとの出会いを大切に、みんなと仲良く楽しく何事にも諦



わかばの会交流会【豚汁会】

副会長 柳澤 真優まひろ (四ツ谷町)

私が中学でがんばりたいことは、三つあります。

一つ目は、勉強です。私は算数が苦手だけど中学では、「数学」ではなく、「数学」になるので今まで以上にがんばりたいです。「数学」以外の教科もがんばりたいです。

二つ目は、部活です。私はバスケット部に入りたいです。中学のバスケット部に入ってレギュラーをとりたいからです。私は先輩たちとやるのがとても楽しみです。

三つ目は、あいさつです。私は、知っている人などにしかあいさつをしなかったのでした。元気がよくあいさつをしたいです。私はこの三つを中学の目標としてがんばりたいです。

平成27年度まちづくり講座〜新しい試み〜

参加者の感想

- ◆今年度のまちづくり講座は、公民館や町会とあまり接点のない世代を対象に、集うことの楽しさを感じてもらい、その中から生まれる交流や学びの希望を形にしていこうと新しい試みを始めてみました。
- ◆1月29日(金)には、第三地区内のイタリアンレストランからおつまみのオードブルとワインの種類を用意してもらい、ワインを楽しむ会を開きました。参加者は普段公民館には殆ど来たことがない方たちばかりで、中には公民館に初めて来たという方もいて、町会の話や、色々な世間話に話が咲き、あつという間の3時間でした。
- ◆また是非やりたいという声が多かったことから、2回目は2月27日(土) 韓国料理講師の松尾貞姫先生にお願いして、料理講習会を開き、自分たちで作ったチヂミなどを食べながら交流会をしました。40代50代は働き盛りでPTAなどからも離れてしまい町会との接点も少なくなってしまうです。でもこのような機会を沢山作ることで、町会や公民館を知る機会にもなり、新しいコミュニティや学びの場をつくるきっかけにもなると感じました。(降旗都子)
- ◆こういう機会を設けていただくと町内の人とのふれ合いが出来て良いと思います。
- ◆これからも飲みニケーション開催してください。
- ◆第三地区公民館に初めて来ました。これからも機会があれば公民館を利用してみたい。



韓国料理の作り方を学ぶ



食事をしながら交流を深める

第三地区の若い力!

仕事を精一杯頑張る、第三地区の若い世代の方たちをインタビュー形式で紹介していきます!



名前 曾根 健也さん
年齢 19 歳
町会 西埋橋
職業 会社員

Q 仕事について今思うことは?

A 私が働いている会社の人達は私のわからない所があったら教えてくれるし、間違いを指摘してしまったりきちんと指摘してくれるいい会社だと思います。

Q 仕事でやりがいを感じることは?

A まだ入社したばかりで社会人としてもまだまだです。覚える事もいっぱい、一つ一つの作業もやりがいがあると思っています。

Q 自分の住むまち(第三地区)についてどう思いますか?

A 19 年間住んでいて町の人もみんな優しくとても住みやすい町だと思います。

A Q 今、一番関心があることは? この町がこれからどう発展していくか楽しみです。

公民館委員活動紹介

第三地区公民館には地域住民で構成された委員会があり、講座の企画、実施や館報の編集等をおこなっています。今回は平成27年度の活動内容を紹介します。

● 生活・文化委員会

住民の学習意欲を満たす講座の企画、実施をしています。



牛伏川階段工見学



お正月用の生け花講座



浴衣の着付け講座

その他、裂き布を使った布草履づくり講座、しめ縄・お飾りづくり講座を開催

● 体育委員会

住民の健康づくりを目的とした運動講座の企画、実施をしています。



戸隠神社ウォーキング



あがた運動公園芝生広場で世代間交流

その他、中山道(馬籠宿)ウォーキング講座を開催

● 館報編集委員会

隔月で発行される公民館報の取材、編集をしています。



館報の編集会議

入学の月	国名
1月	オーストラリア、ニュージーランド、シンガポール
3月	韓国
4月	日本
5月	タイ
6月	フィリピン
9月	欧米、ロシア、中国

うか。(海野幸頼)
日本でも最近、一部の学校で9月入学を検討しているようだが、小学校から大学まで、日本の入学式は桜の咲く4月がふさわしいと思うのは、私だけだろうか。
一方、他の国々の場合は、表のように様々だが、9月入学が多い。いずれにしても、日本の様な厳かな入学式は少ないようだ。

桜のたよりが聞かれる4月、入学式にはふさわしい季節だ。しかしながら、入学式は昔から4月だったのではない。江戸時代、寺子屋や藩校は随時入学だった。明治になり西洋の教育制度が導入されると9月の入学が主流となった。それが明治19年、会計年度が4月始まりとなると、4月入学が奨励され、ま

ず高等師範が、そして明治33年には小学校が4月入学となった。しかし旧制高校・帝国大学が4月入学となったのは大正10年のことだ。

一方、他の国々の場合は、表のように様々だが、9月入学が多い。いずれにしても、日本の様な厳かな入学式は少ないようだ。

日本でも最近、一部の学校で9月入学を検討しているようだが、小学校から大学まで、日本の入学式は桜の咲く4月がふさわしいと思うのは、私だけだろうか。

(海野幸頼)

